T-ブロック ガーデンヌック

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書

1屋根材　必要数（3梱包）

名　称	員数
屋根材	20

2屋根パネル(大)　必要数（2梱包）

名　称	員数
屋根パネル(大)	1

3屋根パネル(小)　必要数（2梱包）

名　称	員数
屋根パネル(小)	1

4母屋・棟木セット

名　称	員数
棟木	1
母屋A	2
母屋B	2
鼻隠し	1

5妻壁セット

名　称	員数
妻壁(右)	1
妻壁(左)	1
妻壁(中)	1

6屋根化粧材セット

名　称	員数
屋根化粧材A	2
屋根化粧材B	2
屋根化粧材C	2

7屋根部品セット(ガーデンヌック取付説明書在中)

名　称	員数
棟木ー妻壁固定金具	6
コーナー部固定金具	4
母屋ー妻壁固定金具	4
母屋固定金具	3
金具押さえ	7
アンカーボルト W3/8基礎ボルト	7
屋根固定ナット W3/8六角ナット	7
屋根固定平座金 W3/8平座金	7
屋根固定バネ座金 W3/8バネ座金	7
棟木ー妻壁固定金具組付ネジ φ3.1×16サラ木ネジ	12
棟木固定ネジ φ3.1×16サラ木ネジ	12
屋根パネル組付ネジ φ4×40サラタッピング1種	54
屋根化粧材A・B組付ネジ φ4.1×63サラ木ネジ	8
屋根化粧材C組付ネジ φ4×40サラタッピング1種	4
屋根部材組付ネジ φ4×20サラタッピング1種	8
屋根材組付け用釘 φ1.5×16釘	240
止水コーキング剤 333mℓ	1

8水切り材セット

名　称	員数
前後部水切り材	2
側面部水切り材	2
前部・側面部水切り材組付ネジ φ4×40サラタッピング1種	14
後部水切り材組付ネジ φ4×12ナベピアス	8

9ドア枠セット

名　称	員数
ドア枠	1
Lアングル	2
すき間隠し材	1
ヒンジ	2
ドアーヒンジ取付裏板	2
目隠しシール	8
Lアングル取付ネジ φ4×25ナベセルフタップアンカー(予備3本入)	15
Lアングル取付平座金 呼び径4 φ12(予備3ヶ入)	15
ドア枠ーLアングル取付ネジ φ4×19ナベピアス	10
ドア枠ーヒンジ取付ネジ φ4×14サラタッピング3種	8
ドアーヒンジ取付ネジ φ4×14サラタッピング3種	8

10ドア1型セット

名　称	員数
ドア	1

11窓枠1型セット

名　称	員数
窓枠	1
窓位置決め金具	2
金具取付ネジ φ4×20トラスタッピング1種	4
すき間埋めクッション材 L=3000	1

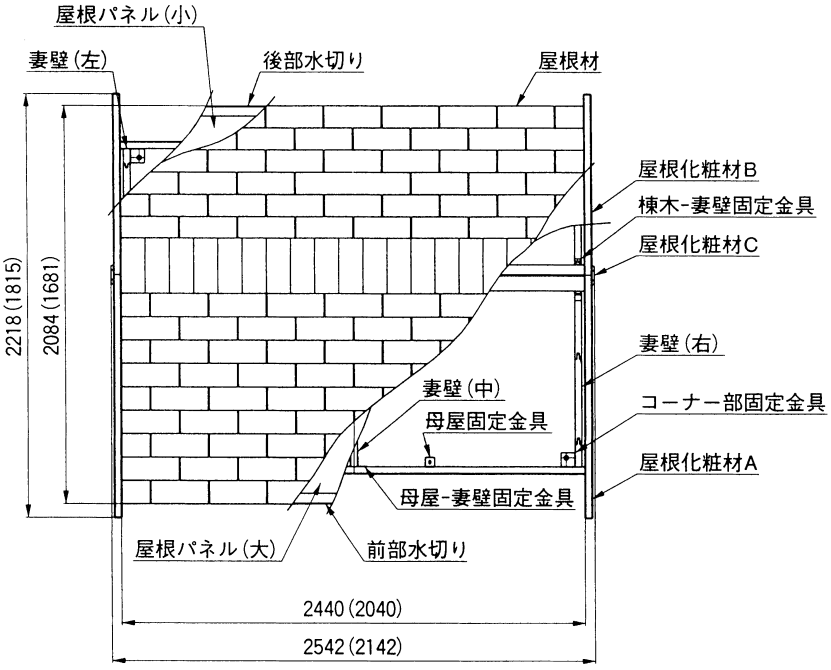
12雨樋セット　オプション

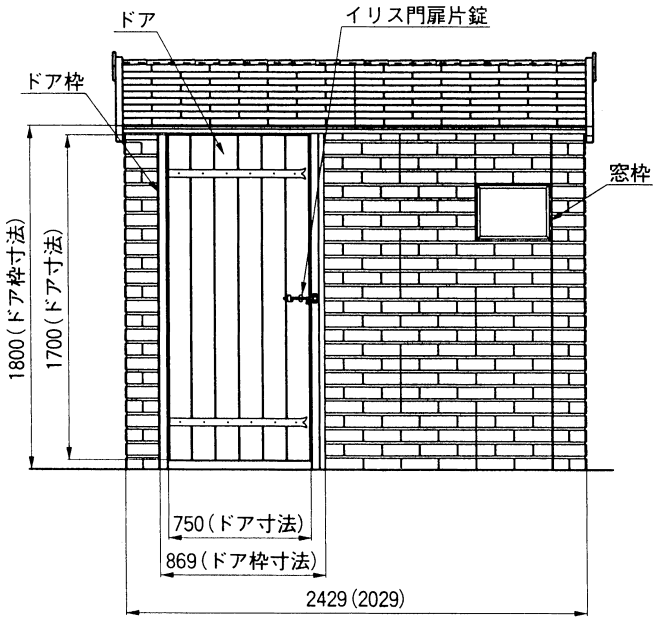
名　称	員数
雨樋	1
雨樋キャップ(右)	1
雨樋キャップ(左)	1
雨樋キャップ取付ネジ M3×10ナベ小ネジ	4
雨樋取付ネジ φ4×12ナベピアス	7
チェーン(取付部品・オモリ付)	1
止水コーキング剤	1

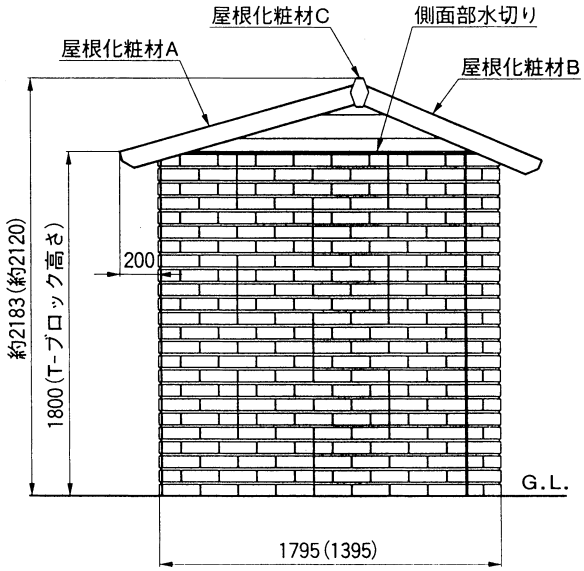
<注 意>

- 必要数未記入のものについては、全て必要数1梱包ずつとしてください。

1.意匠図および各部名称







ガーデンヌック前面図

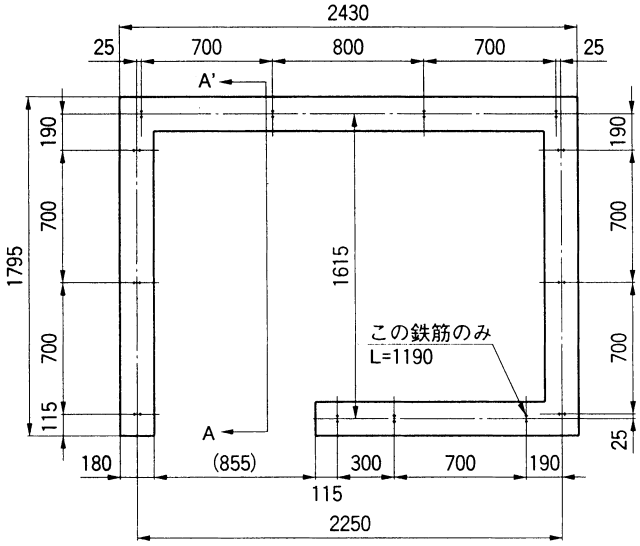
<注 意>

- (　)内寸法は、切詰めを行なったときの寸法を示します。

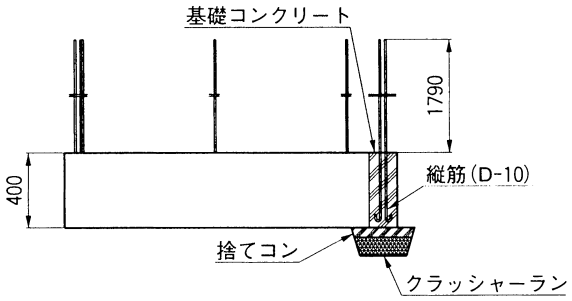
2.基礎寸法図

<注 意>

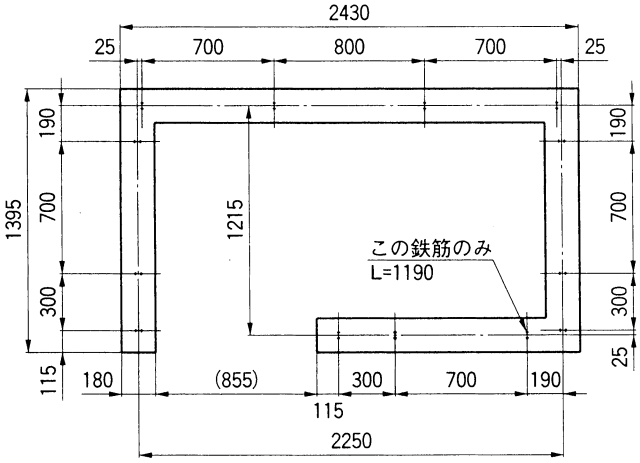
- 基礎についての詳細は、「T-ブロック取付説明書(取説コードB033)」を参照してください。



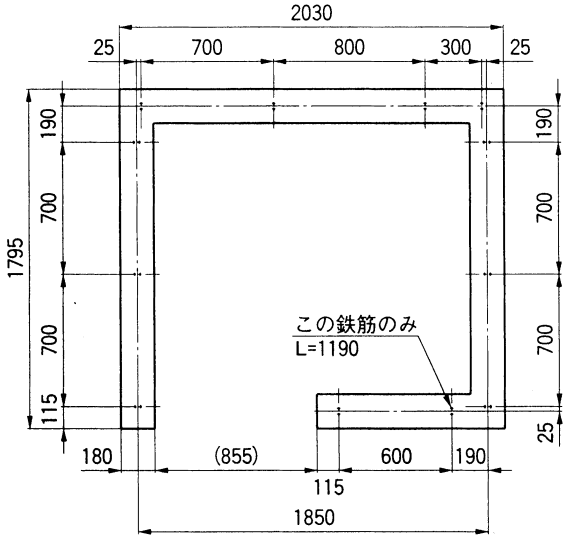
標準仕様
(間口2429㎜×奥行き1795㎜)



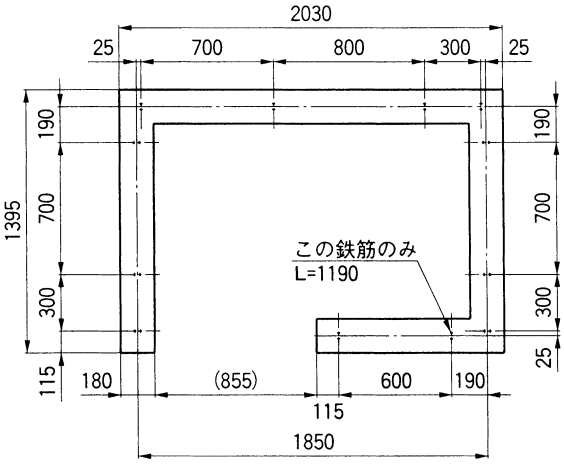
A－A'断面図



奥行き切詰め仕様
(間口2429㎜×奥行き1395㎜)



間口切詰め仕様
(間口2029㎜×奥行き1795㎜)



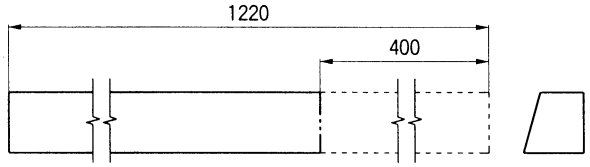
間口・奥行き切詰め仕様
(間口2029㎜×奥行き1395㎜)

3.施工の前に

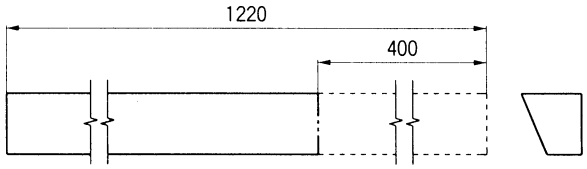
<注 意>

- ガーデンヌックは、施工時に間口方向・奥行き方向ともに400㎜切詰めが可能です。間口および奥行き方向の切詰めを行なう際には下記内容にしたがってください。
- 間口・奥行き両方を切詰める際は、3-1 ・ 3-2 両方の作業を行なってください。

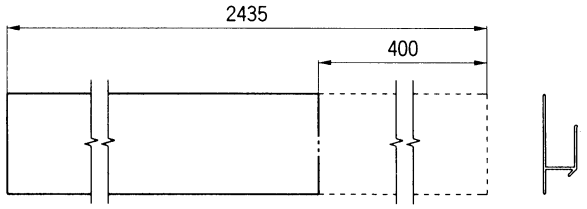
3-1 間口方向の切詰め



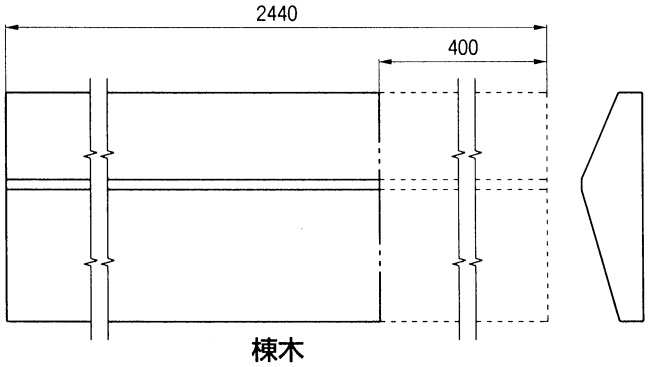
母屋A（1本のみ切断）



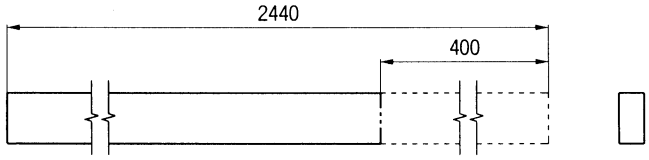
母屋B（1本のみ切断）



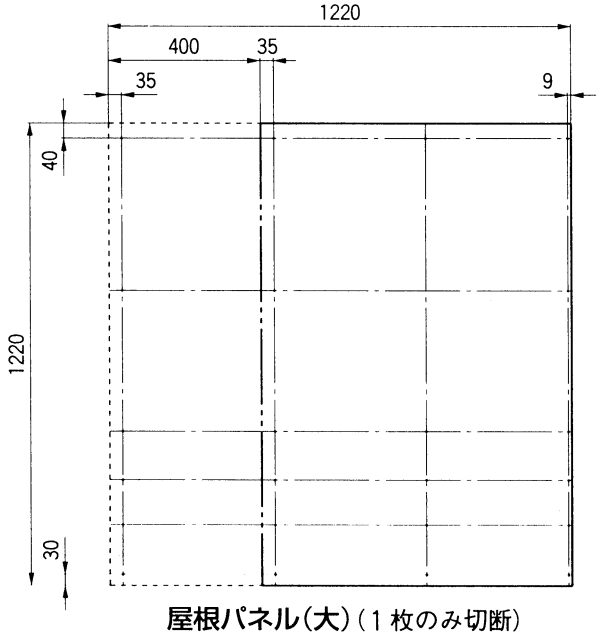
前後部水切り材（2本とも切断）



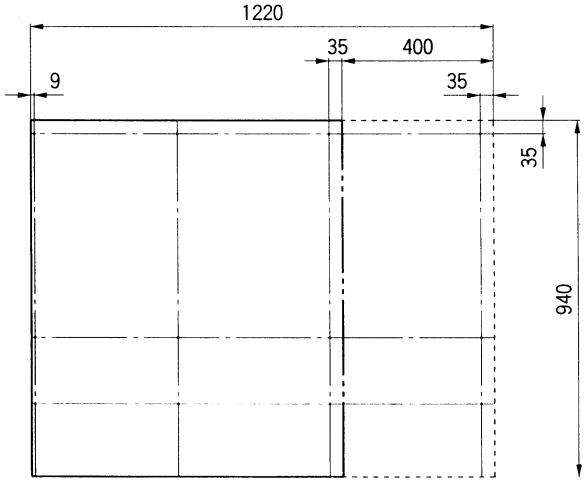
棟木



鼻隠し



屋根パネル(大)（1枚のみ切断）



屋根パネル(小)（1枚のみ切断）

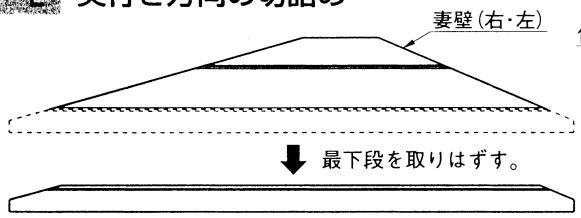
※ ——·-·—— 部で切断してください。

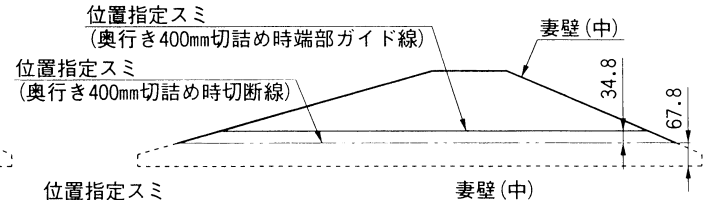
❶ 母屋Aの2本のうち1本を400㎜切落としてください。
❷ 同じく、母屋Bの2本のうち1本を400㎜切落としてください。
❸ 棟木，鼻隠し，前後部水切り材を400㎜切落としてください。
❹ 屋根パネル(大)の2枚のうち1枚を上図にしたがって切断してください。
❺ 同じく、屋根パネル(小)の2枚のうち1枚を上図にしたがって切断してください。

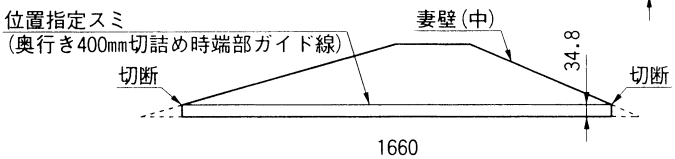
<注 意>

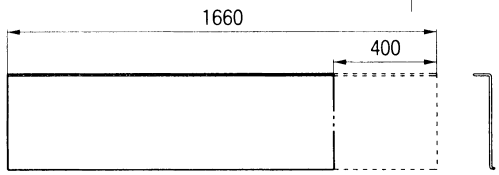
- 屋根パネル(大・小)には方向性があります。誤った場所を切断しないよう、十分にご注意ください。

3-2 奥行き方向の切詰め

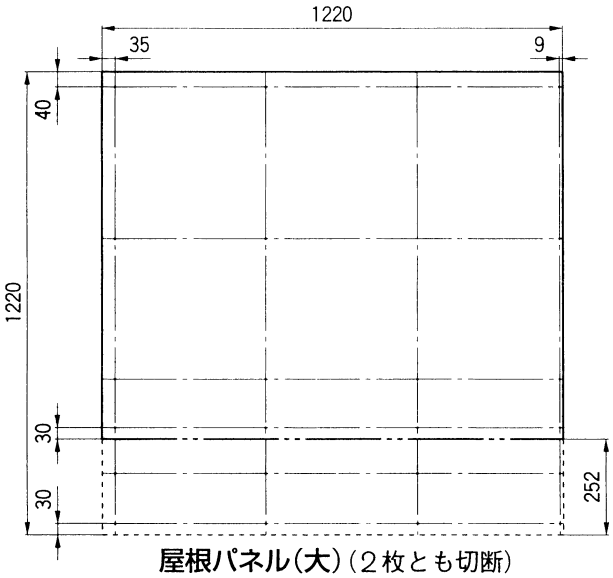




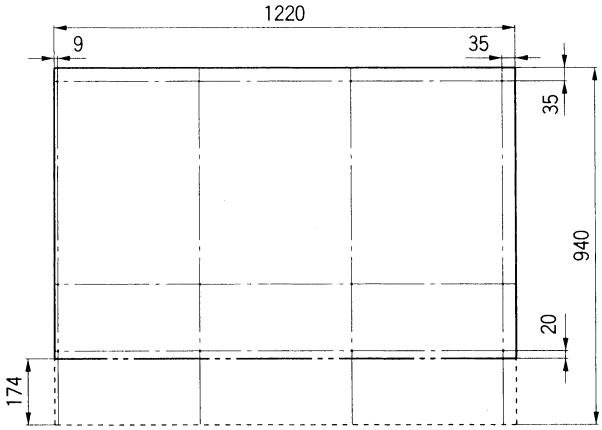




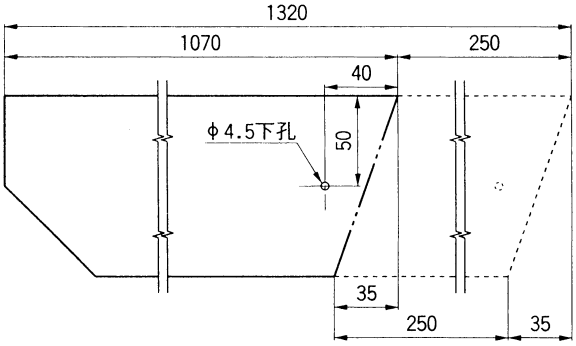
側面部水切り材(2本とも切断)



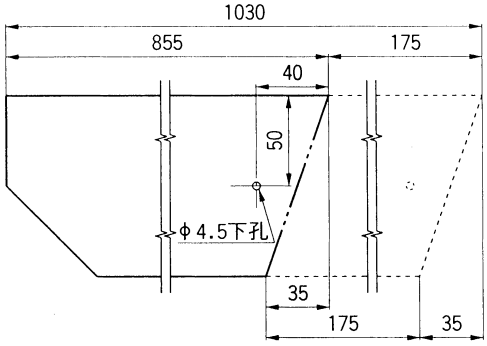
屋根パネル(大)(2枚とも切断)



屋根パネル(小)(2枚とも切断)



屋根化粧材A(2枚とも切断および加工)



屋根化粧材B(2枚とも切断および加工)

※ ——-·-—— 部で切断してください。

❶ 妻壁(右)および妻壁(左)の、3段に分かれているうちの1つの部材を上図のように取りはずしてください。

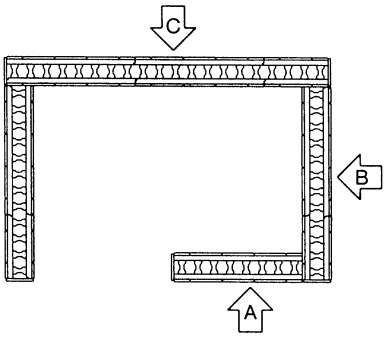
<注 意>

● 妻壁(右・左)はステープルにて仮固定されていますので、ペンチまたはニッパー等を使用しステープルを取除いた後、部材を取りはずしてください。

❷ 妻壁(中)を上図のように位置指示ケガキ線にしたがって切断してください。
❸ 上図のように位置指示ケガキ線を目安にして、妻壁(中)の両端を切落としてください。
❹ 完成した妻壁(中)を目安に、妻壁(右)および(左)の両端部を切落としてください。
❺ 上図のように、側面部水切り材を切断してください。
❻ 屋根パネル(大)の2枚とも、上図にしたがって切断してください。
❼ 同じく、屋根パネル(小)の2枚とも上図にしたがって切断してください。
❽ 屋根化粧材A・Bのそれぞれ2本とも上図にしたがって切断し、図の位置にφ4.5の下孔をあけてください。

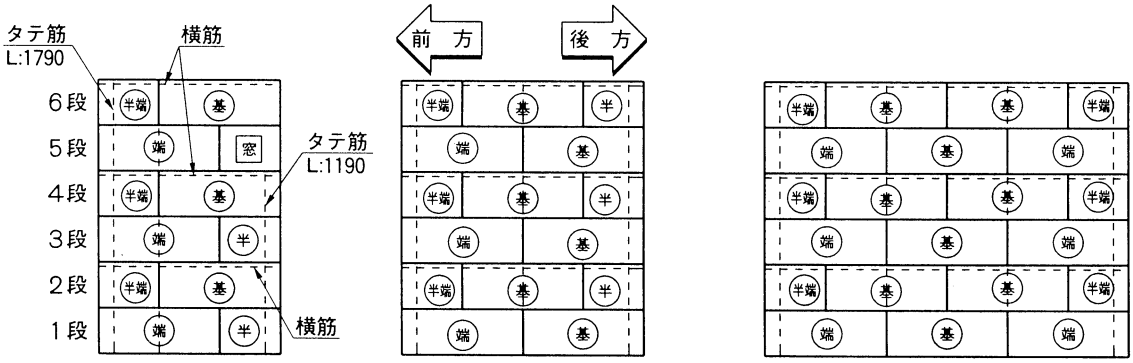
4.T-ブロックの施工

4-1 ブロックの割付け



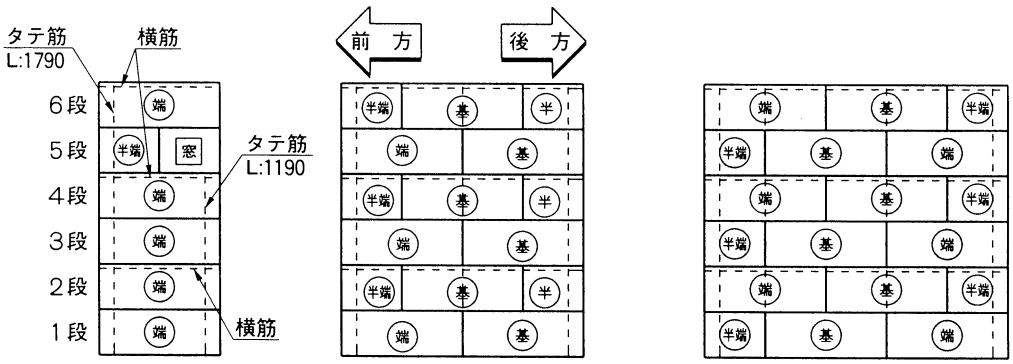
基・・・・・基本ブロック
半・・・・・半切りブロック
端・・・・・端部ブロック
半端・・・・・端部半切りブロック
窓・・・・・窓枠

(1)標準仕様(間口2429mm×奥行き1795mm)



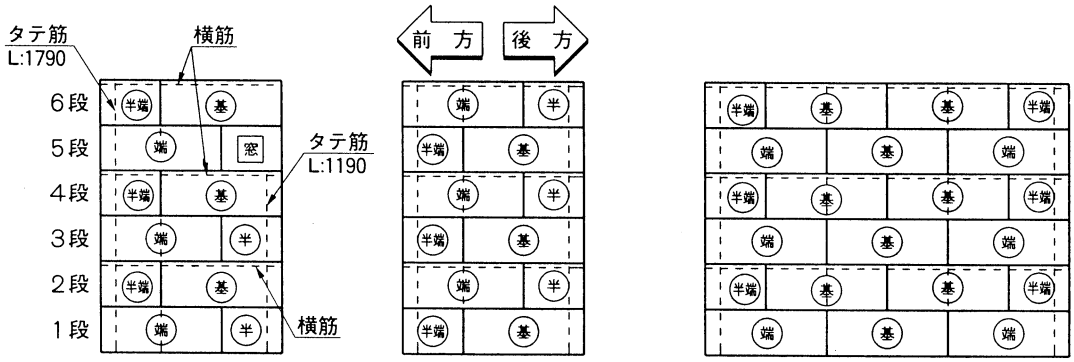
矢視A(前面)　矢視B(側面)　矢視C(背面)

(2)間口切詰め仕様(間口2029mm×奥行き1795mm)



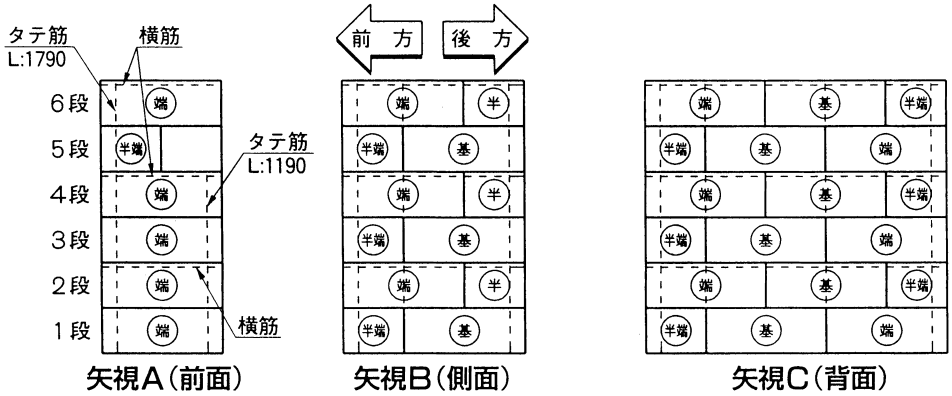
矢視A(前面)　矢視B(側面)　矢視C(背面)

(3)奥行き切詰め仕様(間口2429mm×奥行き1395mm)



矢視A(前面)　矢視B(側面)　矢視C(背面)

(4)間口・奥行き切詰め仕様(間口2029㎜×奥行き1395㎜)

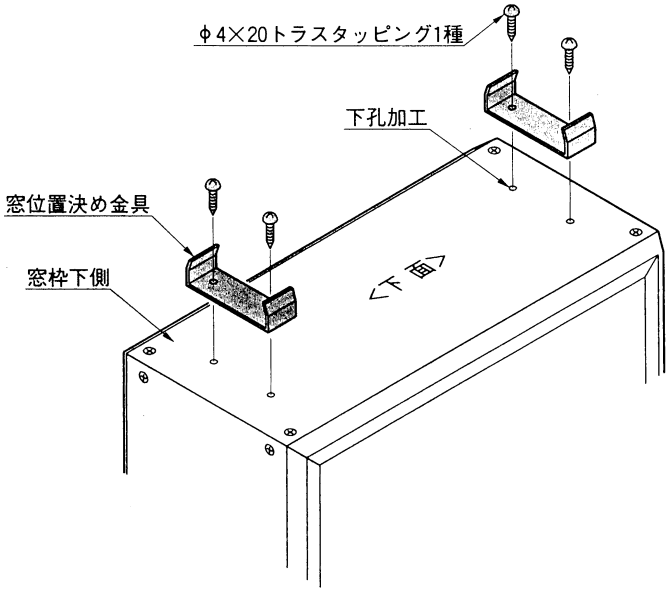


4-2 4段目までのブロックの施工

※4段目までのブロックの施工は、「T-ブロック取付説明書(取説コードB033)」を参照してください。

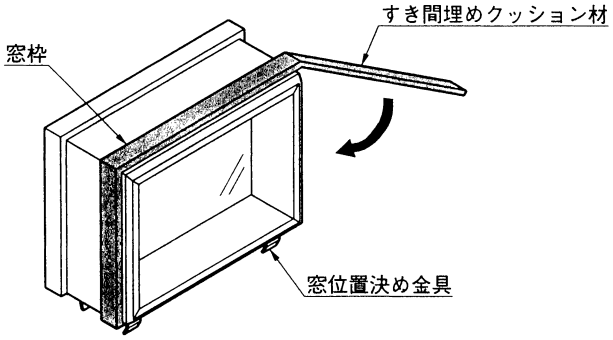
4-3 窓枠の施工

(1)窓位置決め金具の取付け



❶ 左図のように窓枠下部の下孔に、窓位置決め金具をφ4×20トラスタッピング1種ネジで固定してください。(4ヶ所)

(2)すき間埋めクッション材の取付け

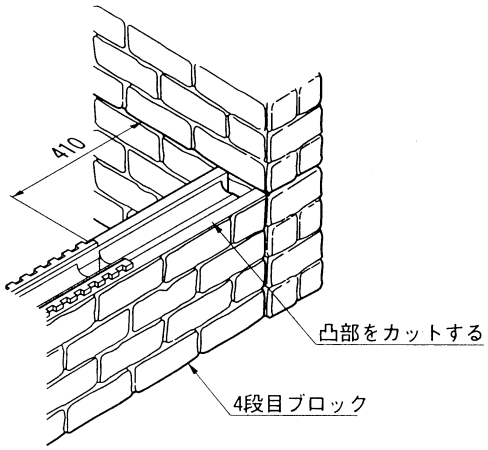


❶ 左図にしたがい、すき間埋めクッション材を貼付けてください。

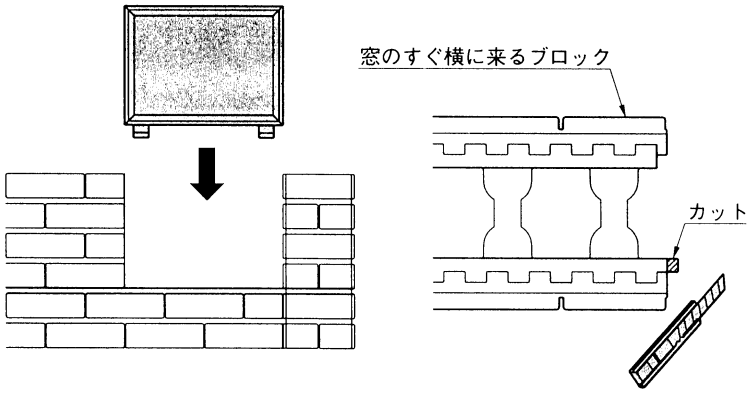
4.つづき

4-3 つづき

(3)窓枠の取付け



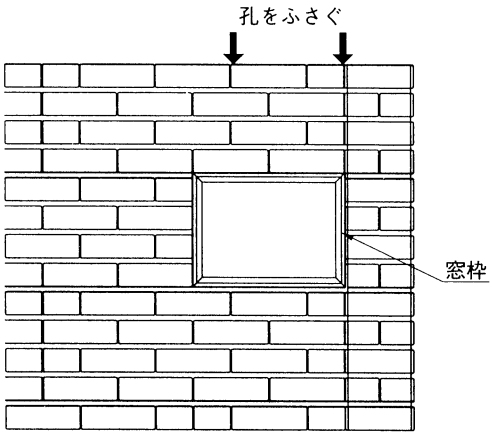
❶ 4段目ブロックのハメ合い用凸部分をカッターナイフ等で切断してください。

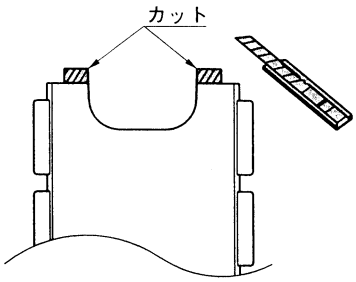


❷ 横にくるブロック側面部のかみ合わせ凸部を、カッターナイフ等で切断してください。

❸ 4段目ブロックの横筋モルタル充填部に、あらかじめ窓枠に取付けておいた窓位置固定金具を、埋込むような形で窓枠を施工してください。

(4)5・6段目のブロック施工





❶ 5段目のブロックの施工を、「T-ブロック取付説明書(取説コードB033)」にしたがい行なってください。

❷ 6段目のブロックで、窓枠のすぐ上に施工するブロックの窓枠にかかる孔を、テープ等でふさいでください。

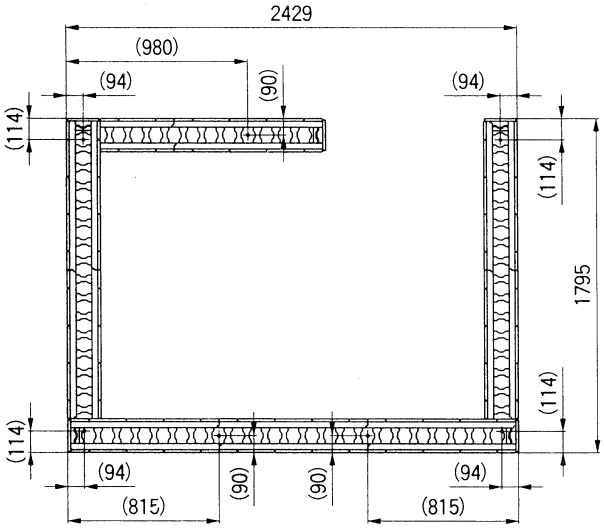
<注 意>

- 窓枠の木材部分にモルタルが接触しますと、モルタルのアルカリ成分により木材を侵してしまうおそれがあります。木材部には硬化前のモルタルが接触しないように注意して施工してください。

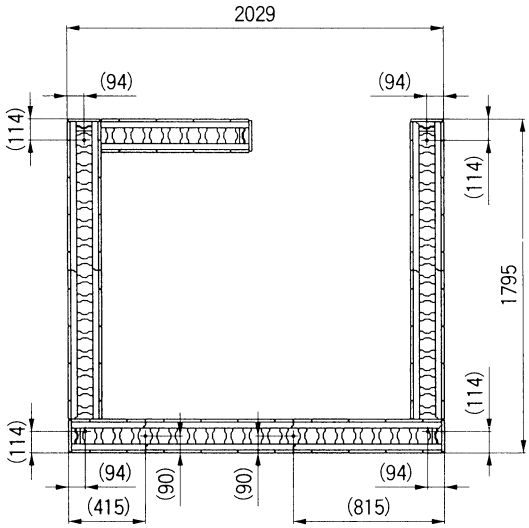
❸ 6段目のブロックを施工し、最後に上部凸部の発泡を切断してください。

5.アンカーの埋込み

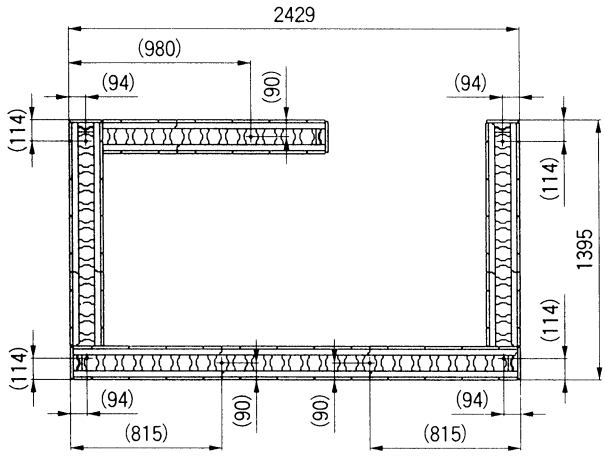
5-1 アンカー位置図



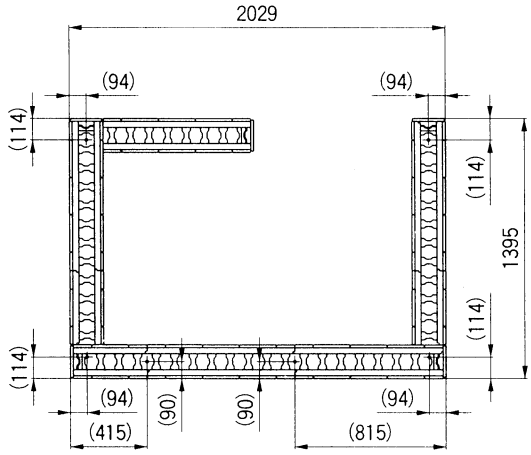
標準仕様
（間口2429㎜×奥行き1795㎜）



間口切詰め仕様
（間口2029㎜×奥行き1795㎜）

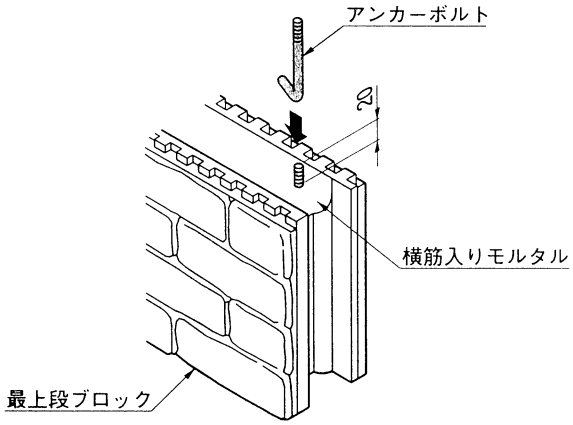


奥行き切詰め仕様
（間口2429㎜×奥行き1395㎜）



間口・奥行き切詰め仕様
（間口2029㎜×奥行き1395㎜）

5-2 アンカーの埋込み



❶「5-1 アンカー位置図」にしたがって、アンカーボルトを埋込んでください。このとき、左図のようにアンカーボルトのタップ部分がモルタルの中に入らないように埋込んでください。

<注 意>

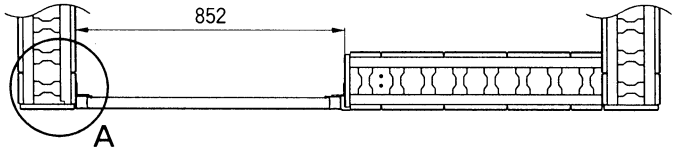
- アンカーボルトが縦筋または横筋と接触する場合は、モルタル硬化前に配筋の位置を調整してください。
- アンカーボルトを埋込んだ後、モルタルが完全に硬化するまでアンカーボルトを動かさないように注意してください。

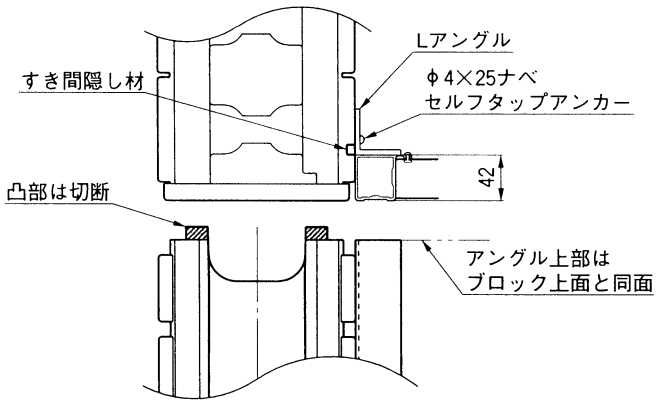
6.ドア枠の取付け

<注 意>

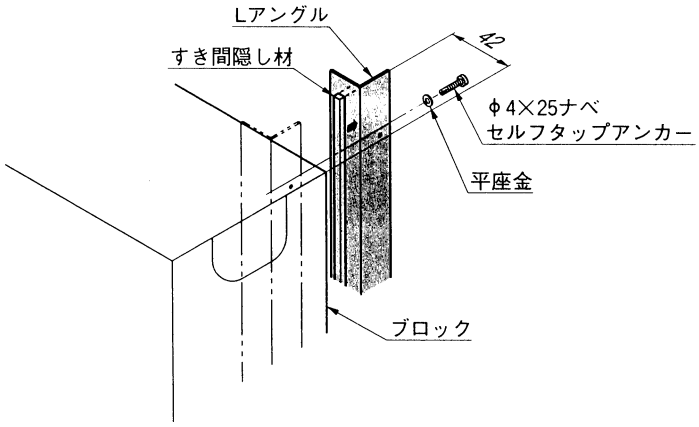
- ここから先の作業は、T-ブロック内部のモルタルが完全に硬化した後に行なってください。

6-1 ドア枠固定Lアングルの取付け





A部詳細図



❶ Lアングルにすき間隠し材を貼付けてください。

<注 意>

- すき間隠し材は、Lアングルの2本のうち1本(左図A側)に貼付けてください。
- 貼付け位置は、Lアングルの長孔が6ヶ所ある面のコーナー部に沿って貼付けてください。

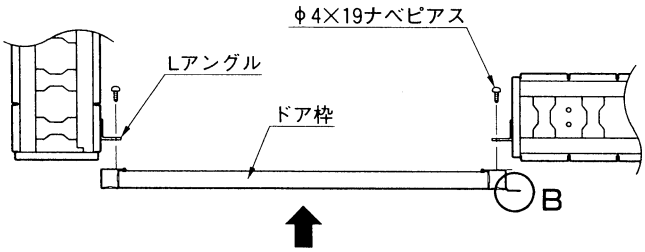
❷ ドア枠を開口部に仮置きし、ドア枠の前面がブロックの面位置にくるようにしてください。

❸ 仮置きした枠にLアングルを密着させた位置でLアングルを固定してください。Lアングルの長孔側をブロックに当て、長孔の孔位置に印を付け一度ドア枠およびLアングルを取りはずした後、印の位置にコンクリート用ドリルでφ3.2の下孔をあけてください。

❹ 先にあけた下孔に、φ4×25ナベセルフタップアンカーでLアングルを固定してください。

❺ 対面も同様にLアングルを取付けてください。

6-2 ドア枠の取付け



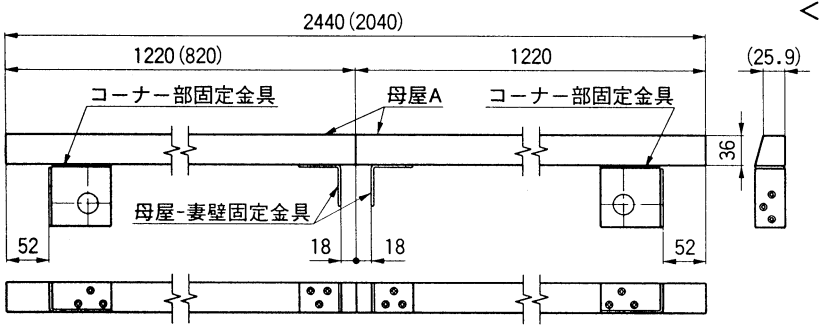
❶ ドア枠を前方からセットし、内側からLアングルにφ4×19ナベピアスネジで固定してください。

<注 意>

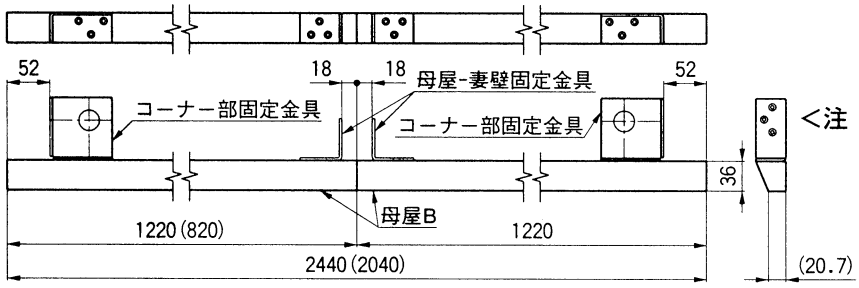
- ドア枠には左右があります。B部のようにフィンがある側がヌック前面の壁側になります。

7.屋根の施工

7-1 母屋への金具の取付け



母屋A(図は2本をツキ合わせたものです)



母屋B(図は2本をツキ合わせたものです)

<注 意>

- 母屋には母屋A・母屋Bの2種類があります。左図を参考に、間違えて施工しないように十分注意してください。

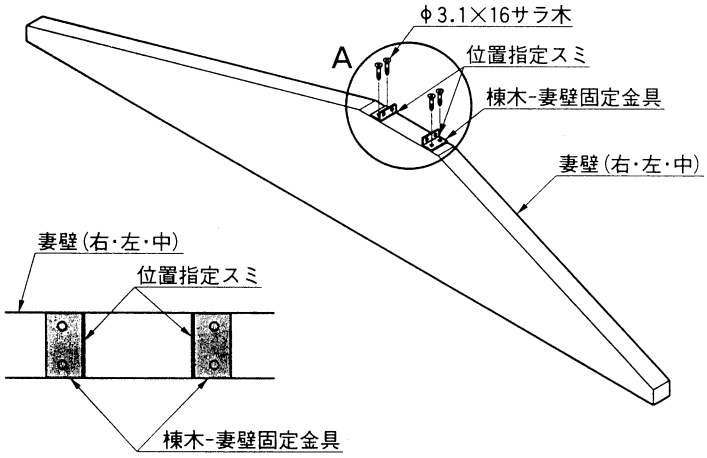
❶ 母屋Aにコーナー部固定金具と母屋ー妻壁固定金具を取付けます。左図にしたがって、各金具をφ4×20サラタッピング1種ネジで固定してください。

❷ 同様に母屋Bにも、コーナー部固定金具と母屋ー妻壁固定金具を、φ4×20サラタッピング1種ネジで固定してください。

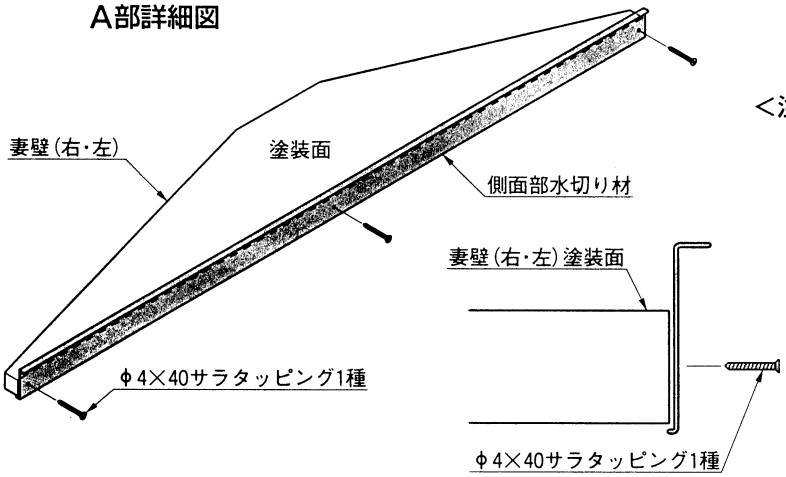
<注 意>

- 組付ネジは全てφ4×20サラタッピング1種ネジを使用してください。(母屋A・母屋B共通)

7-2 妻壁への金具の取付け



A部詳細図



❶ 妻壁(右・左・中)それぞれに棟木ー妻壁固定金具を取付けます。妻壁(右・左・中)それぞれの上部にあらかじめ入れてある位置指定スミに合わせ、棟木ー妻壁固定金具をφ3.1×16サラ木ネジで固定してください。

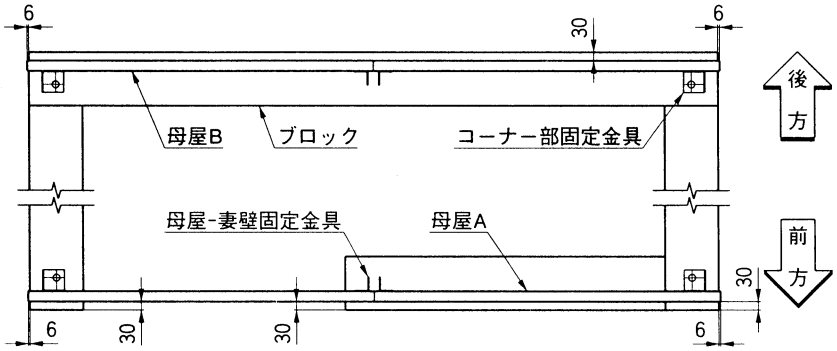
❷ 妻壁(右)および妻壁(左)に側面部水切り材を、φ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。

<注 意>

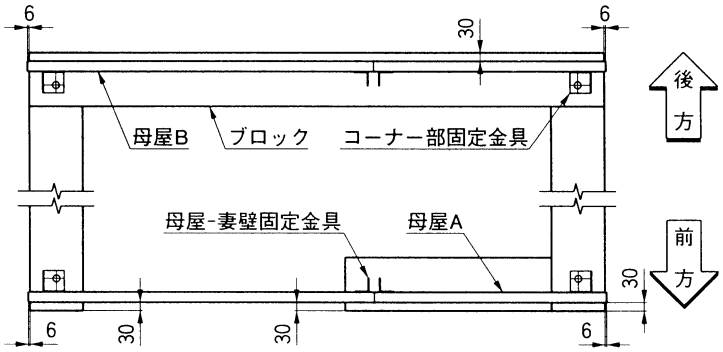
- 妻壁(右)および妻壁(左)は、片面にだけ塗装が施されています。塗装面が施工後外側になるように、向きに気を付けて側面部水切り材を取付けてください。

7.つづき

7-3 母屋の取付け



標準および奥行き切詰め仕様



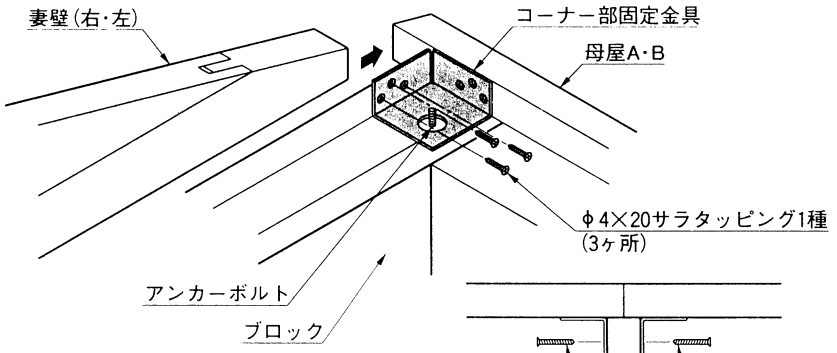
間口切詰めおよび間口・奥行き切詰め仕様

❶ あらかじめ金具を取付けておいた母屋を取付けます。ブロックに埋めておいたアンカーボルトをコーナー部固定金具の丸孔に通し、左図の位置になる場所に母屋A・Bを配置してください。

❷ 次に妻壁をセットします。両サイドに妻壁(右)および妻壁(左)を、中心に妻壁(中)をそれぞれ配置してください。

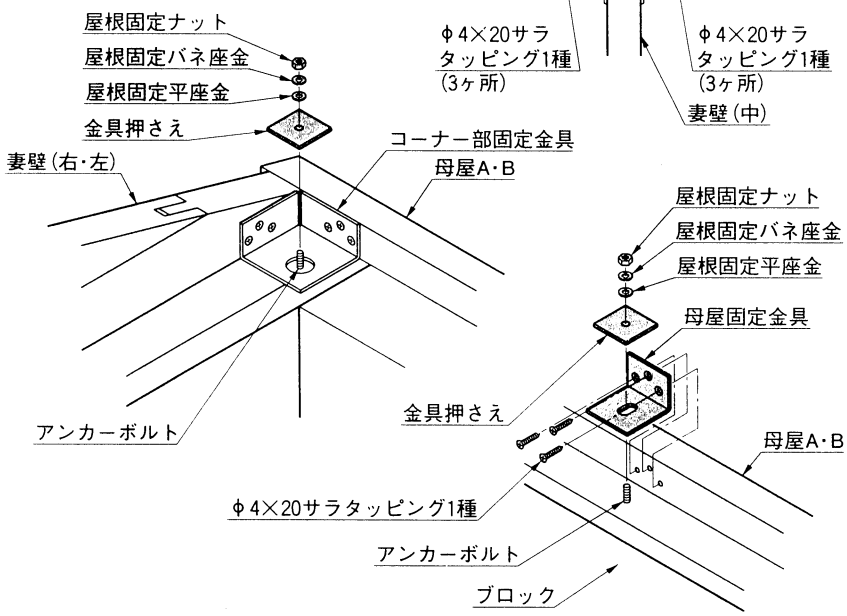
<注 意>

- 妻壁(右)および妻壁(左)には、片面にのみ塗装がされています。組付ける際は必ず、塗装面が外側になるように方向に注意してください。



❸ 妻壁(右)および妻壁(左)を、母屋A・Bに固定してあるコーナー部固定金具にφ4×20サラタッピング1種ネジで固定してください。

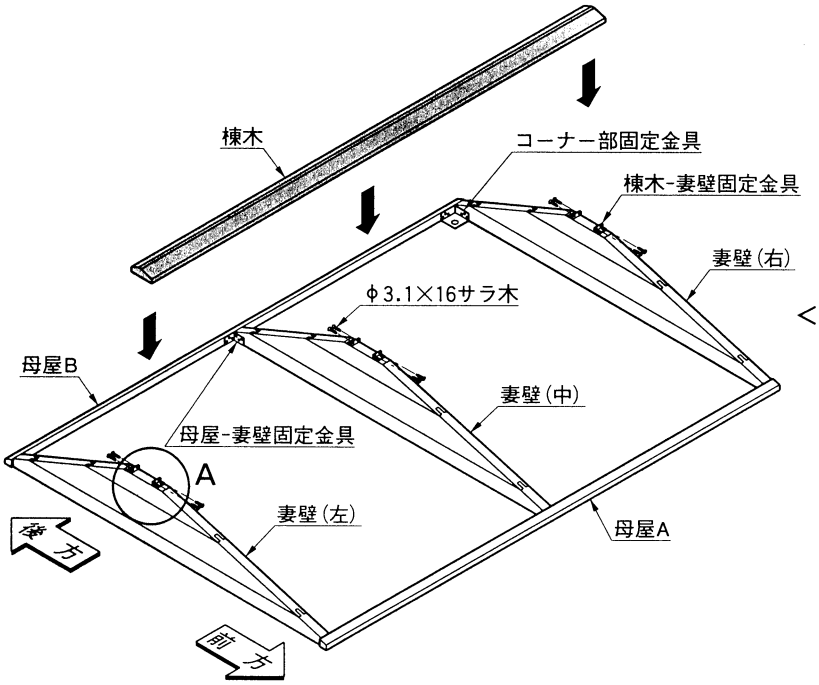
❹ 同様に妻壁(中)を母屋A・Bに固定してある母屋ー妻壁固定金具にφ4×20サラタッピング1種ネジで固定してください。



❺ 母屋と妻壁が金具によって一体化されましたら、コーナー部のアンカーボルトに金具押さえを通し、屋根固定ナット・平座金・バネ座金で母屋を固定してください。

❻ 残ったアンカーボルトを母屋固定金具の長孔部に通し、母屋固定金具にφ4×20サラタッピング1種ネジを用いて固定した後、アンカーボルトに金具押さえを通しコーナー部と同様に固定してください。

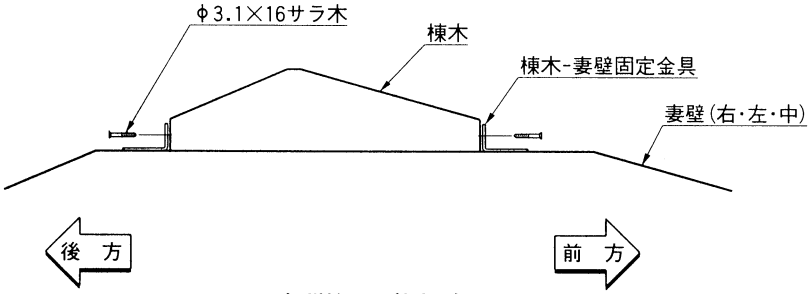
7-4 棟木の取付け



<注 意>

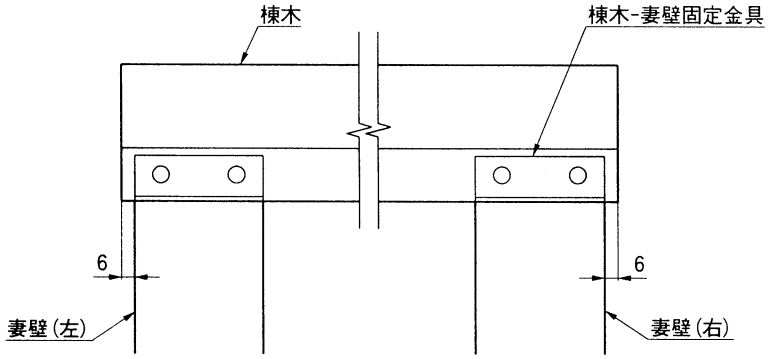
● 棟木には母屋同様向きがあります。左図にしたがって、向きを間違えないようにしてください。

❶ 棟木ー妻壁固定金具を取付けておいた妻壁に、金具と金具の間に納まるように棟木を乗せてください。このとき、左右サイドの妻壁から棟木が、左図(A部詳細図(正面))の位置にくるように置いてください。



A部詳細図(側面)

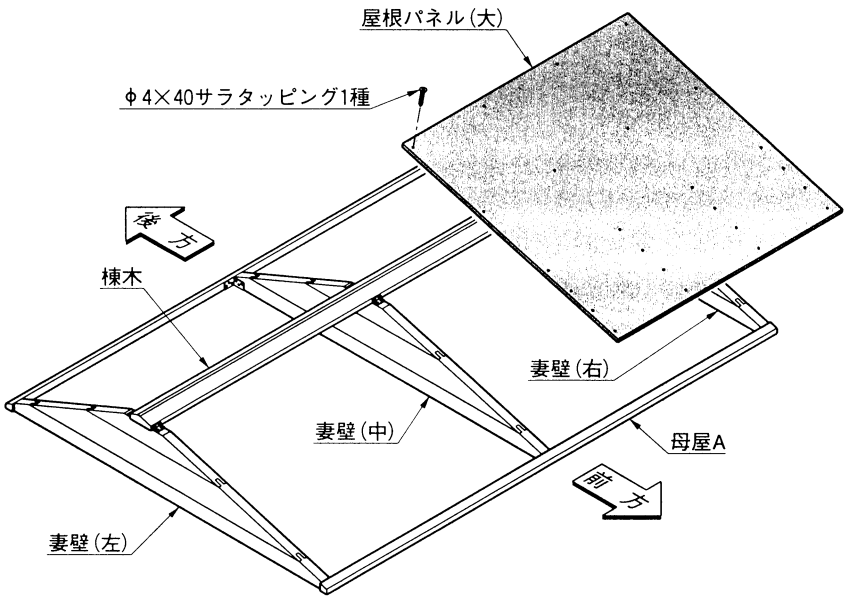
❷ 棟木を、φ3.1×16サラ木ネジを使用して固定してください。



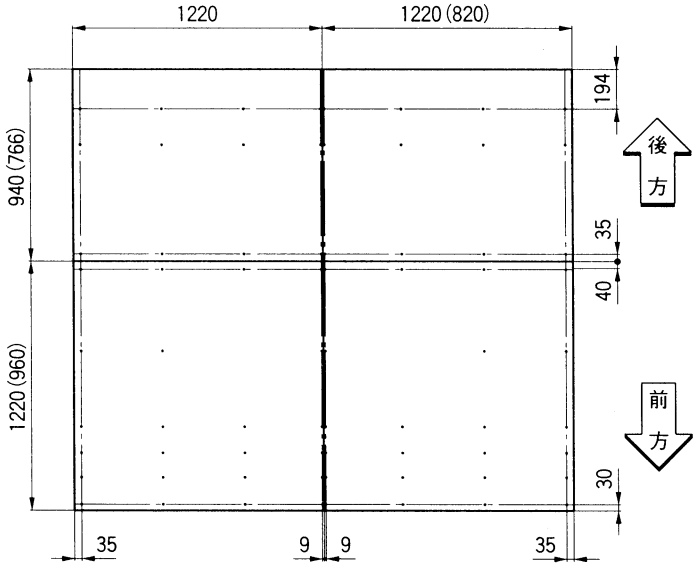
A部詳細図(正面)

7.つづき

7-5 屋根パネルの取付け

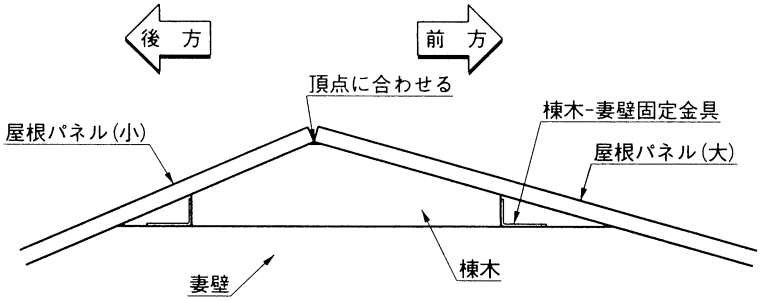


❶ 屋根パネル(大)を取付けます。左図の位置にくるようにパネルを乗せ、φ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。



屋根配置図

※( )内寸法は、切詰め時の寸法です。



屋根納まり図

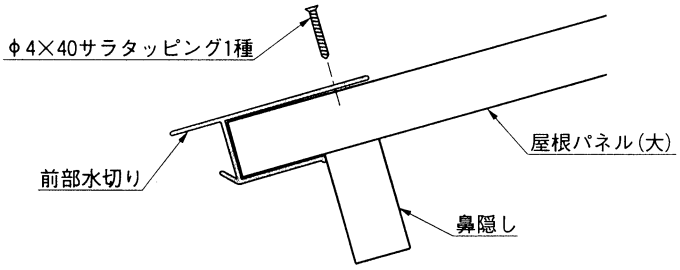
<注 意>

● 屋根パネル(大)および屋根パネル(小)には方向性があります。左図を参考に、注意して取付けてください。

❷ 同様に屋根パネル(小)を左図の位置にくるように置き、φ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。

7-6 前後部水切り材の取付け

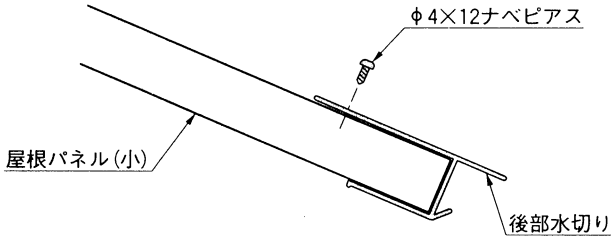
(1)前部水切りの取付け



❶ 左図のように、前後部水切り材を屋根パネルの前方側にはめ込んでください。
このとき、屋根パネルの下孔と前部水切りの孔が合うようにしてください。

❷ 鼻隠しを屋根パネルの下側に、前後部水切り材をガイドするようにして当て、屋根パネルの上面からφ4×40サラタッピング1種ネジで、左図のように固定してください。

(2)後部水切りの取付け



❶ 前部水切りと同様に、屋根パネルの後方側に前後部水切り材をはめ込んでください。

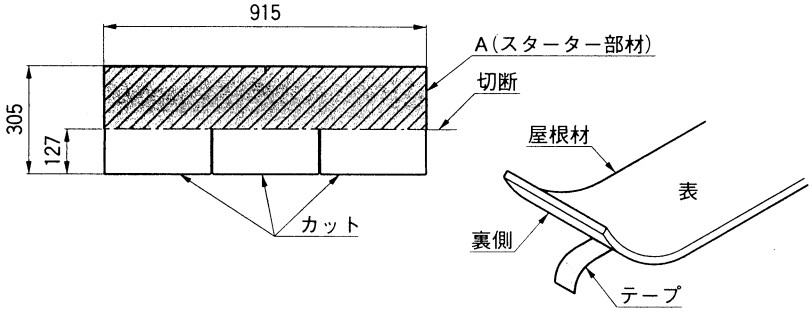
❷ 屋根パネルの上側から、φ4×12ナベピアスネジで水切り材を固定してください。

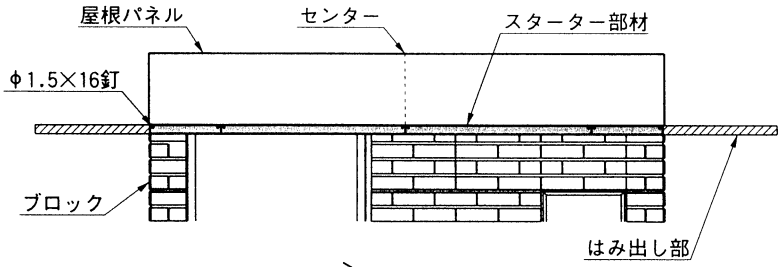
<注 意>

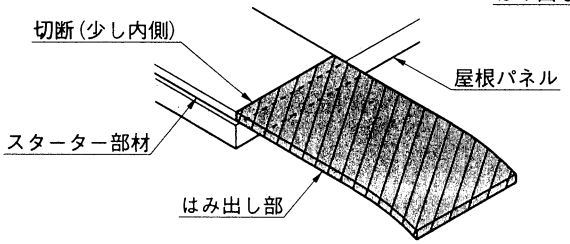
● 後部水切りを取付ける際、屋根パネルには下孔があいておりません。ピアスネジにて縫い込むように固定してください。

7-7 屋根材の施工

(1)スターターの施工







❶ スターターとして左図Aの部材を作ります。屋根材は裏側からカッターナイフで簡単に切断することができますので、指示した部分でカットしてください。

❷ 屋根材の裏に貼ってあるテープをはがしてください。

❸ 屋根材を屋根のセンターから順番に、左図のように貼付けてください。

<注 意>

● スターターは屋根の前方の端部と後方の端部、合計2ヶ所に施工します。後方端部も同じように施工してください。

❹ 左図の位置に、φ1.5×16釘で2ヶ所ずつ固定してください。

❺ 屋根部からはみ出した部分を切り取ってください。また、切り取った残りの屋根材も使用できますので、なるべく有効に施工するようにしてください。

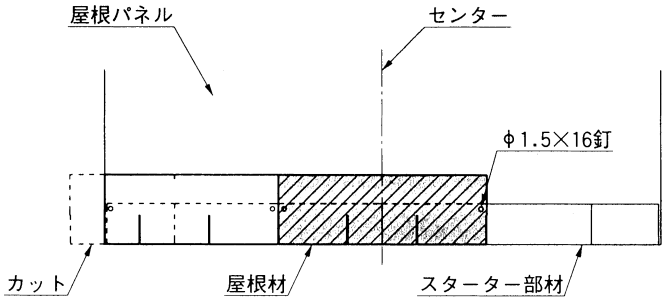
<注 意>

● 屋根部からはみ出した屋根材は、少し長めに切断してください。

7.つづき

7-7 つづき

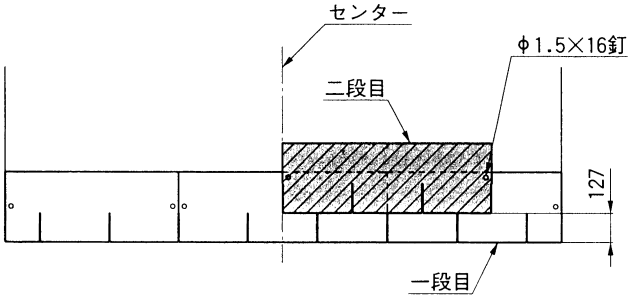
(2)屋根材基本部の施工



❶ スターターを施工した上から、基本となる屋根材を施工していきます。屋根のセンターから屋根の前方端部へ順番に施工してください。

<注 意>

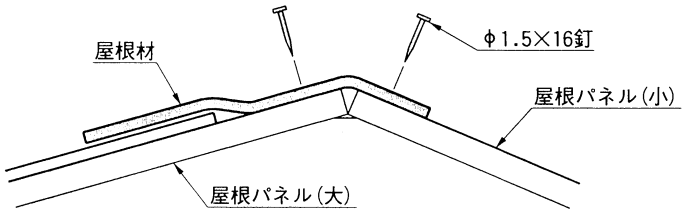
● このとき、屋根材の裏面にあるテープは必ずはがしながら施工してください。太陽光によりテープが貼られていた部分の接着成分が溶け出し、より高い止水効果をもたらすようになります。



❷ スターターのときと同じように、φ1.5×16釘で屋根材を固定してください。

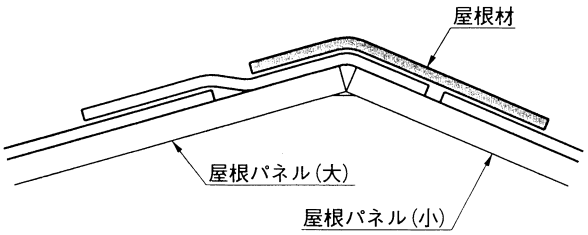
❸ 屋根部からはみ出した部分をカットしてください。

❹ 1段目の施工が終わりましたら、2段目の屋根材を施工します。左図のように1段目とピッチをずらし、同じ要領で施工してください。

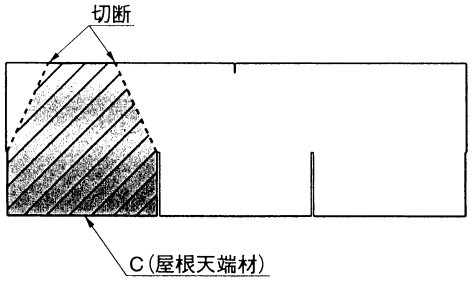


❺ 3段目からも同じ要領で施工し、屋根材の納まりが左図の状態になるまで、上記の作業を繰り返してください。

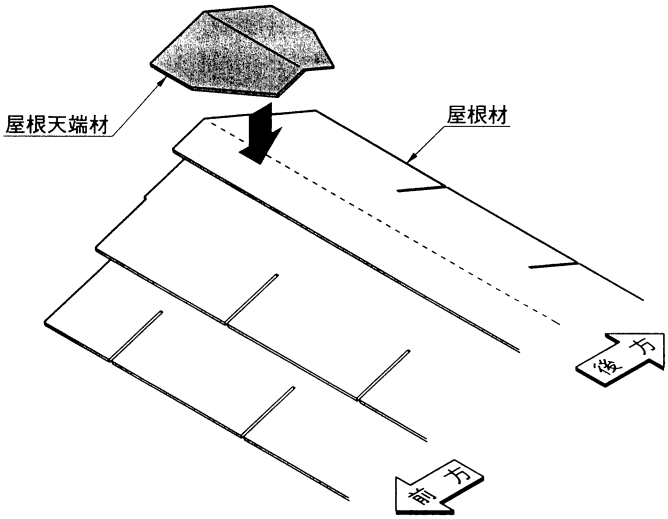
❻ 左図のようになりましたら、屋根後方端部から同じように屋根材を施工してください。



❼ 屋根材の納まりが左図のような状態になるまで施工が終わりましたら、最後に天端部の処理をしてください。



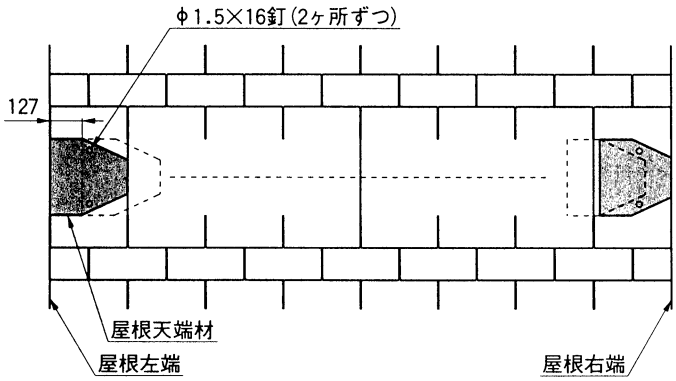
❽ 屋根材を左図Cの形状にカットしてください。



❾ 屋根正面左側の天端から施工します。あらかじめ加工しておいた屋根材を、φ1.5×16釘で固定してください。

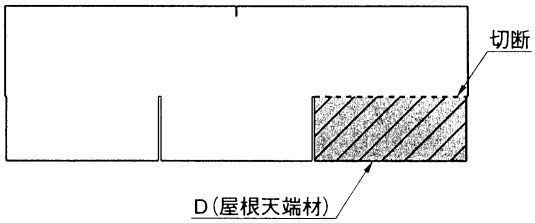
<注 意>

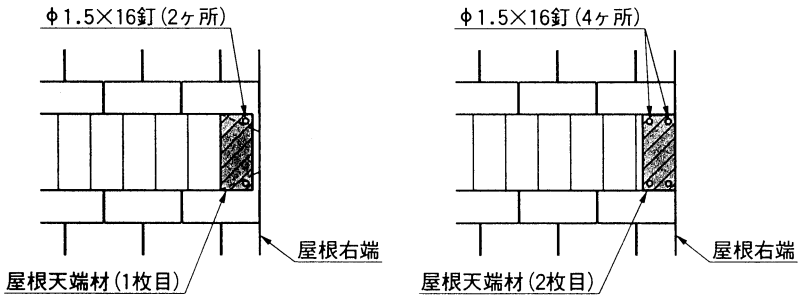
● このとき、屋根材裏側のテープをはがした後に屋根材を固定するようにしてください。



❿ 左図のように同じ形状にカットした屋根材を、重ねて施工してください。

⓫ 同じ要領の作業をくり返し、左図のように屋根材右側天端まで屋根材を施工しましたら、左図Dの形状に屋根材をカットしてください



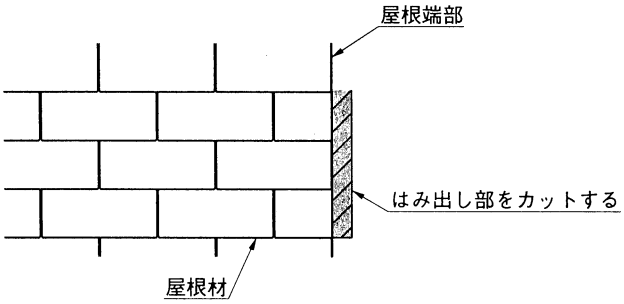


⓬ 左図Dの屋根材を、φ1.5×16釘で固定してください。(2枚)

7.つづき

7-8 屋根化粧材の取付け

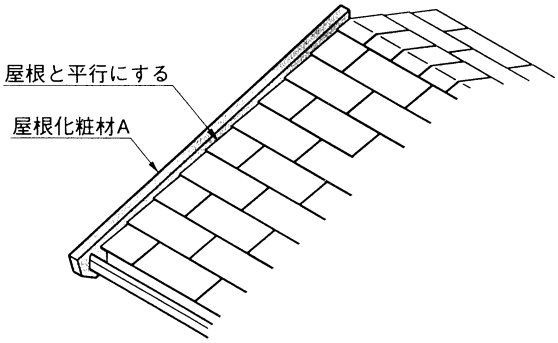
(1)屋根化粧材Aの取付け



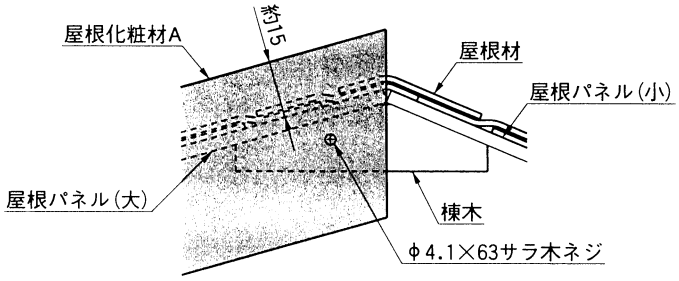
❶ 屋根化粧材を取付ける前に、屋根の左右端部からはみ出している屋根材がないか確認してください。

<注 意>

- 屋根材は屋根端部の内側に納まっている状態で、屋根化粧材を取付けてください。
- 屋根の左右端部から屋根材がはみ出した状態のまま屋根化粧材を取付けますと、屋根化粧材と屋根との間にすき間が発生し、仕上がりが悪く見えることに加え、十分な止水効果が得られなくなってしまいます。

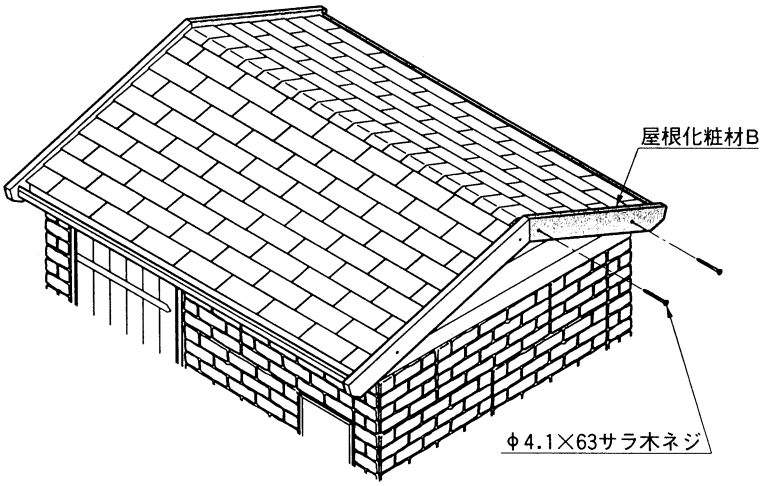


❷ 屋根化粧材Aと屋根の仕上がり面が平行、かつ左図のような納まりになる位置にφ4.1×63サラ木ネジで、屋根化粧材Aを固定してください。



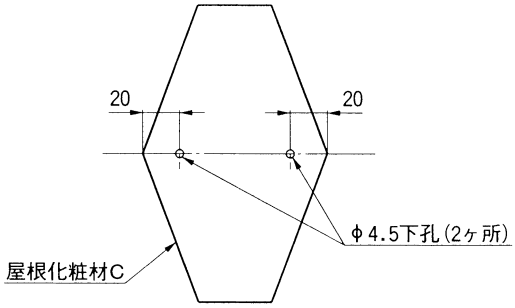
❸ 同様に、屋根の反対側の端部にも屋根化粧材Aを取付けてください。

(2)屋根化粧材Bの取付け

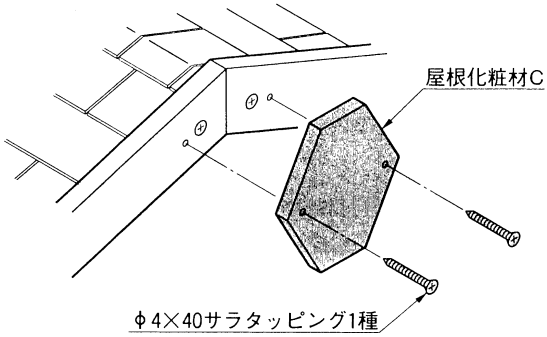


❶ 屋根化粧材Aと同様に、φ4.1×63サラ木ネジで屋根化粧材Bを固定してください。

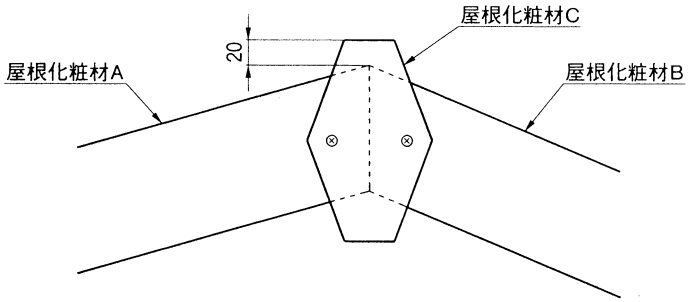
(3)屋根化粧材Cの取付け



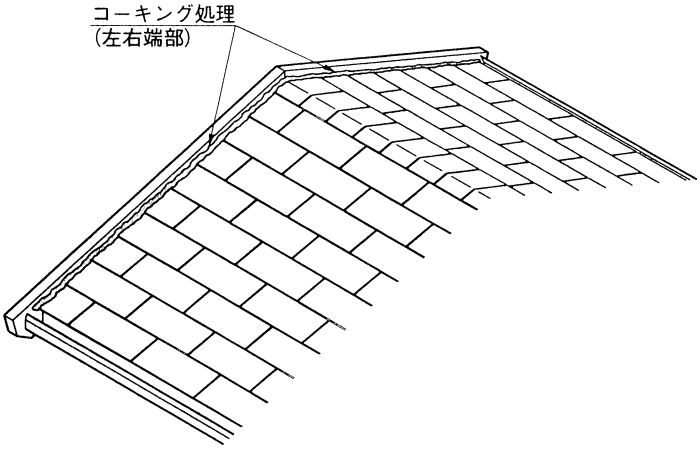
❶ 屋根化粧材Cに、左図のようにφ4.5の下孔をあけてください。



❷ 左図のように、屋根化粧材Cをφ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。



7-9 屋根部のコーキング処理



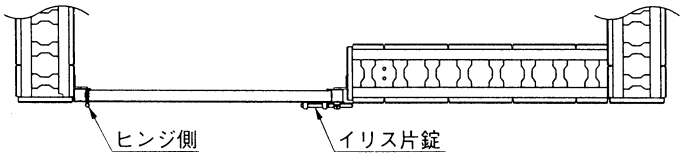
❶ 屋根上部(左図の位置)にコーキング処理を行なってください。

<注 意>

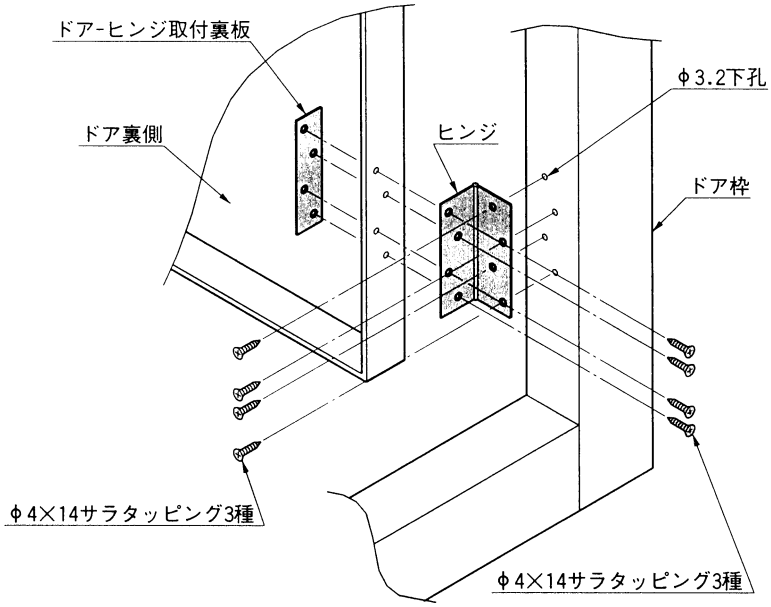
- 屋根材と屋根化粧材の間を、すき間があかないようにコーキング処理を行なってください。すき間があいた状態ですと、十分な止水効果が得られなくなってしまいます。

8.ドアの取付け

8-1 ドアの取付け



❶ ドアの吊元側を確認のうえ、φ4×14サラタッピング3種ネジでドアを取付けてください。

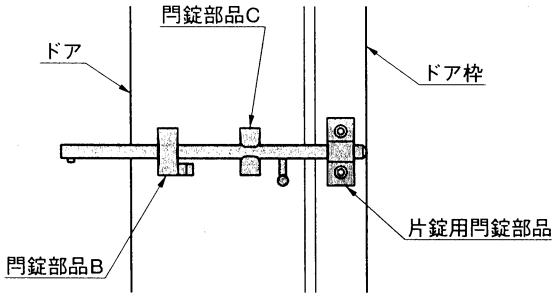


<注 意>

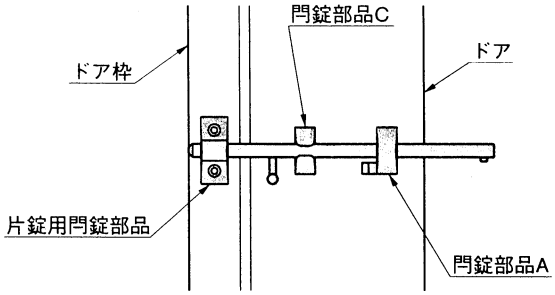
- ドアの吊元は左右どちらでも取付けることが可能です。(ドアには天地がありません。)現場により左右勝手をご自由にお選びください。

❷ ドア枠にヒンジを組付け後(上下2ヶ所)、裏板でドアの側面枠を挟む形でφ4×14サラタッピング3種ネジを用い、ドアを吊込んでください。

8-2 錠の取付け



外観／左吊元



外観／右吊元

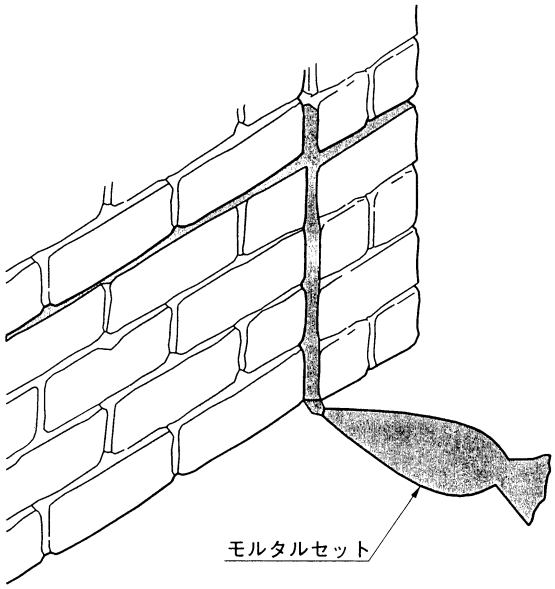
<注 意>

- 錠はイリス門扉片錠をご使用ください。
- 錠の詳細は、「イリス門扉片錠梱包内の取付説明書(取説コードA148)」をご参照ください。

❶ かんぬき錠部品を、M4×15サラ小ネジでドアを挟み込む形で固定してください。

❷ 片錠用かんぬき部品は、錠の開閉がスムーズな高さにφ3.2の下孔をあけた後、φ4×25サラタッピング1種ネジで固定してください。

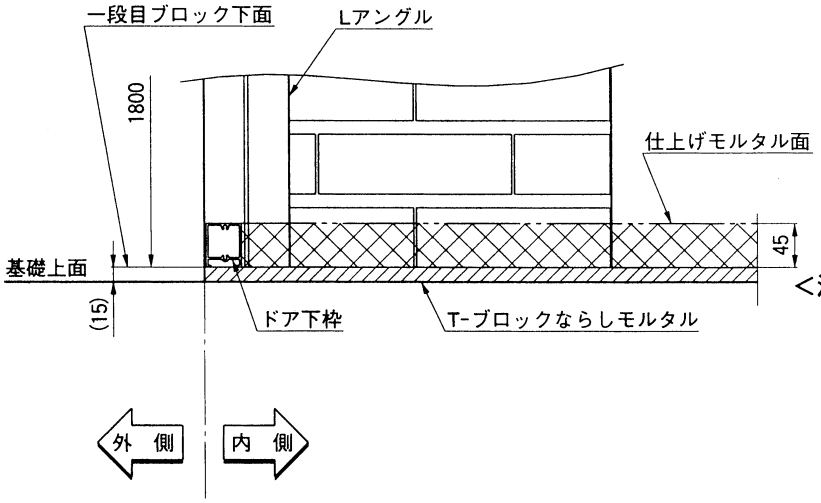
9.ブロック目地の処理



<注 意>

- ブロックの突き当て部等に生じた目地のすき間は、モルタルセットで処理してください。
- ブロックとドア枠とのすき間が開いている場合も、同じようにモルタルセットで処理してください。

10.内部の土間仕上げ



❶ ガーデンヌック内部に左図にしたがって、土間コンクリートを打ち込んでください。

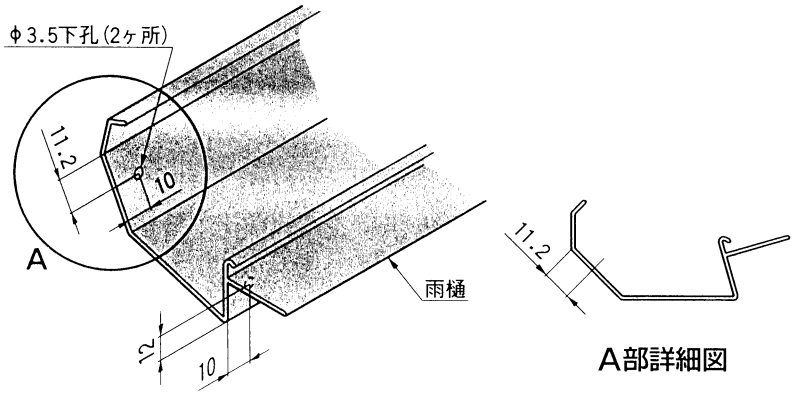
<注 意>

- 雨水処理のため、ドア下枠側に向かって若干の勾配を取ってください。

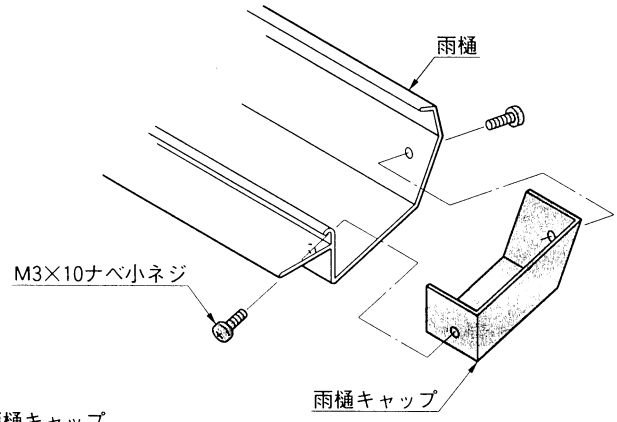
11.雨樋の取付け

<注 意>

● 雨樋セットはオプション設定です。雨樋を取付けられる場合は、この項をご参照ください。

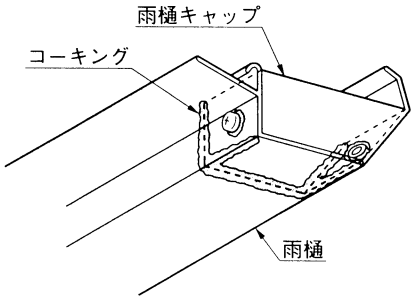


❶ ガーデンヌックの間口切詰めを行なった場合には、同じように雨樋も400mm切詰めを行なってください。また、左図の位置にφ3.5の孔を2ヶ所あけてください。



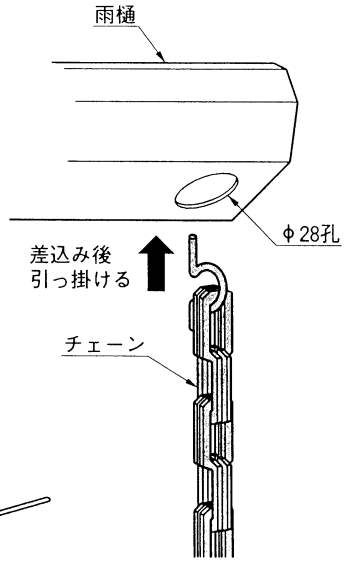
❷ 雨樋の端部に、M3×10ナベ小ネジで雨樋キャップを取付けてください。

❸ 左図のように取付けた雨樋キャップを中心に、コーキング処理を行なってください。

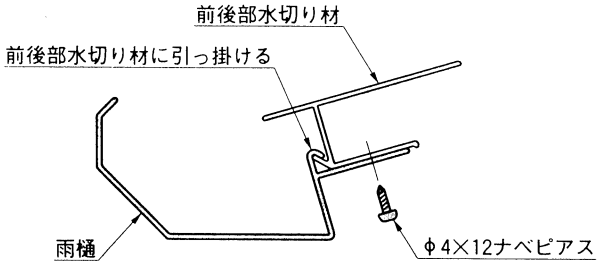


<注 意>

● 雨樋キャップと雨樋との間のすき間を、コーキング剤で完全にシーリングしてください。特に、ネジ孔部分には十分コーキング剤を塗布し、水が漏れないようにしてください。



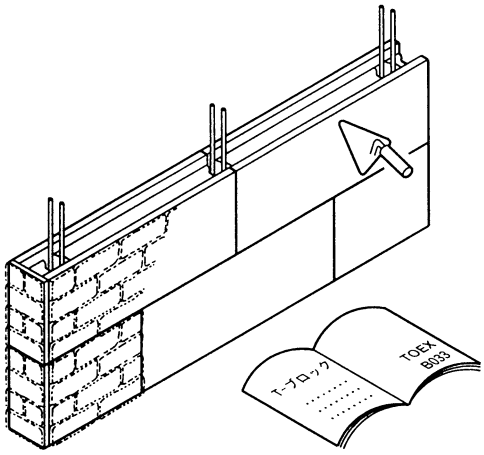
❹ 雨水処理用のチェーンは、雨樋の任意の場所に取付けが可能です。雨樋下面の任意の場所にホルソーなどでφ28の孔をあけ、左図のようにチェーンを固定してください。



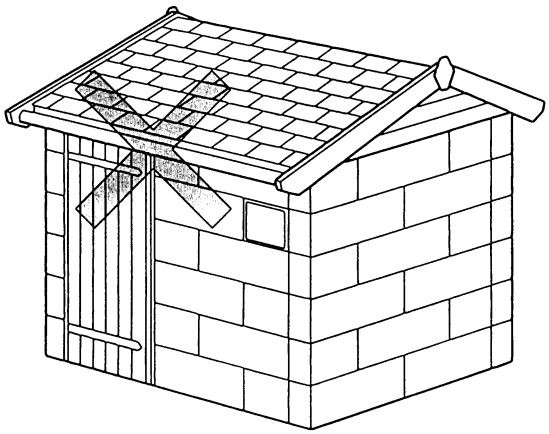
❺ 屋根の前部または、後部水切り材に左図のように雨樋を引っ掛け、φ4×12ナベピアスネジで固定してください。

❻ 屋根化粧材と雨樋の間のすき間に、コーキング処理を行なってください。

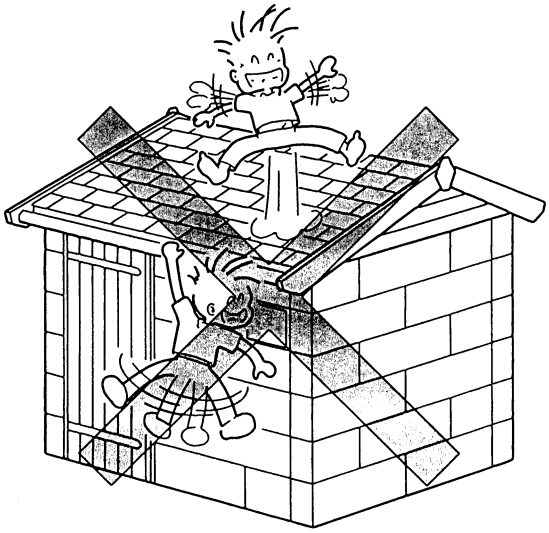
12.施工上およびガーデンヌック使用上の注意点とお願い



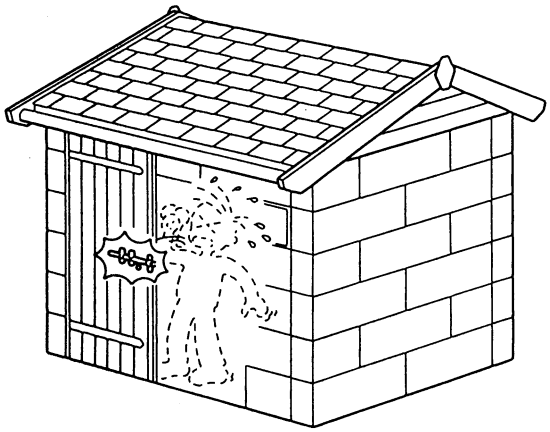
T-ブロックの施工および注意点は、「T-ブロック取付説明書(取説コードB033)」を参照してください。



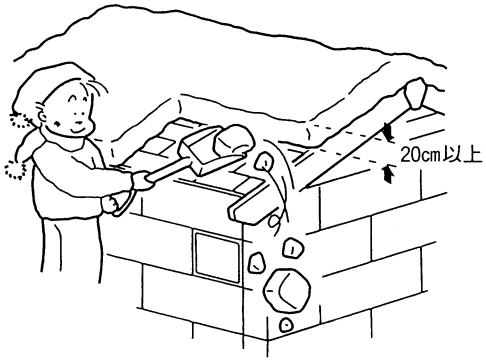
豪雪地での雨樋の使用はおやめください。



屋根の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。



ドアはガーデンヌック内部から錠の開閉をすることができませんので、ご注意ください。



積雪が20cm以上になりましたら、雪おろしを実施してください。

自然が未来

TOEX
東洋エクステリア

工事店様へ

●仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。

●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

施主様へ

●１年～３年に一度、木材部分に防腐処理をして頂くことをお勧め致します。

●ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード
B041

199906A